

光ファイバ伝送専門委員会

中期標準化戦略(概要と目的)

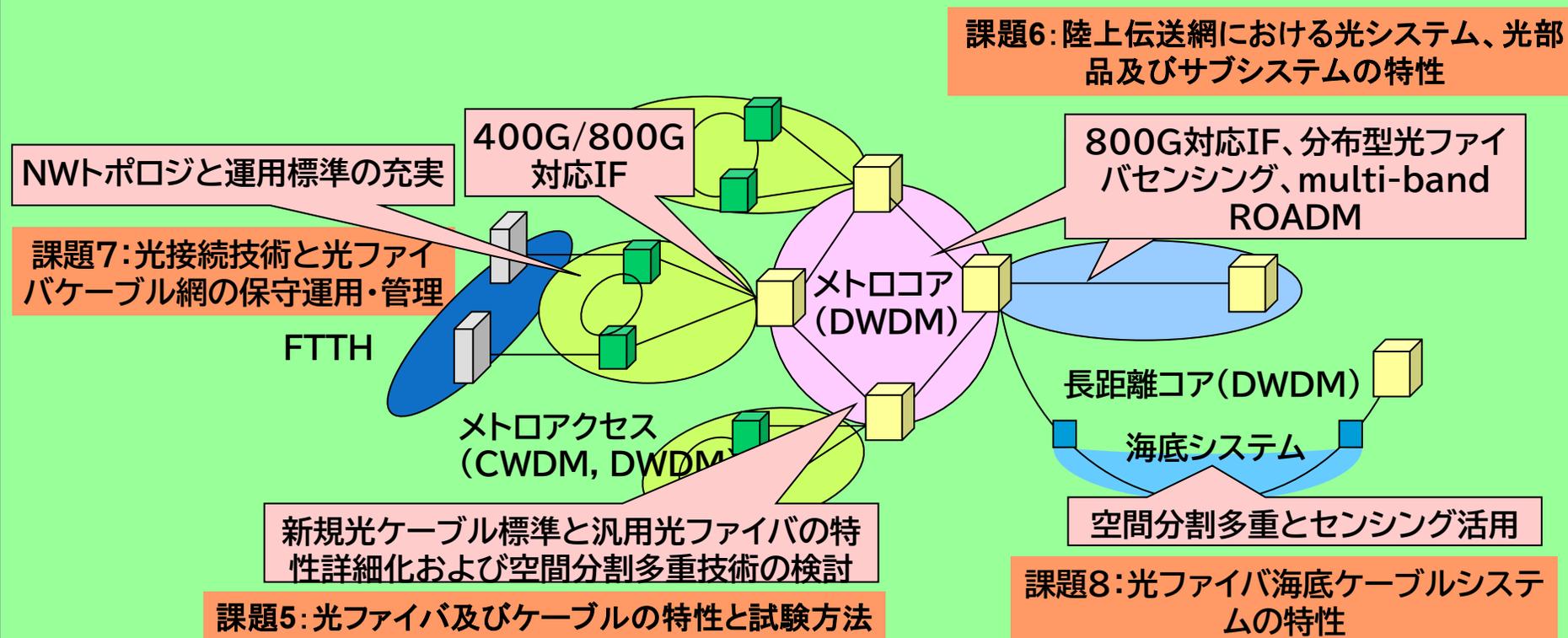
専門委員会・AG名

光ファイバ伝送専門委員会

1/3

企画戦略委員	張 亮(ソフトバンク)	登録委員数	65人(3グループ)9社
委員長・副委員長/ リーダー・サブリーダー	委員長:松井隆(NTT)、副委員長:吉兼昇(KDDI) SWG2001リーダー:江藤基比古(富士通)、SWG2002リーダー:松井隆(NTT)	担当するSG・WP等	ITU-T SG15 WP2
活動の目的・意義 ・めざすゴール	<ul style="list-style-type: none"> 【SWG2001】 B5G/6Gを支える400Gb/s超インターフェースの標準化議論の推進、分布型光ファイバセンシング技術の新規標準化による市場牽引が期待される。 【SWG2002】 光通信の国際的な普及に伴い、光線路基盤の多様化と、安全かつ効率的な保守運用の重要性が益々高まっている。また、光ファイバケーブルの特性詳細化ならびに空間分割多重光ファイバケーブル技術の新規標準化による市場牽引も期待される。 	<p>活動体制の図解 (専門委員会/SWGと対応するSG/技術トピックス、関連する団体等)</p> <p style="text-align: center;">別紙参照</p>	
活動する上での課題 (人材面や運用面での課題を含む)	光通信先進国として、既存設備の利活用および新規技術の立ち上げの両面で標準化活動におけるリーダーシップを維持・強化する必要がある。		
関連のSDGsゴール			
標準化方針	<p>【SWG2001】</p> <ul style="list-style-type: none"> 400Gb/s、800Gb/s級インターフェースの標準化議論推進によるB5G/6GNW基盤の確立 分布型光ファイバセンシング技術の標準文書拡充による市場牽引 <p>【SWG2002】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存光ファイバ標準(勧告G.65x)の特性詳細化による有効活用の促進 新規要求条件に基づくケーブル勧告の制定と光線路保守運用標準の充実 光海底ケーブルのセンシング応用に対応したシステム標準の整備 IEC連携に基づく光線路技術標準の充実 空間分割多重光ファイバケーブルの標準化ロードマップ策定と新規標準化提案による市場牽引 <p>【SWG共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ダウンストリーム活動によるITU-T標準のTTC文書へのタイムリーな反映 タイムリーな技術調査と調査結果のアップストリーム活動への反映 		
国内外の標準化団体等の動向	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T WP2/SG15ではB5G/6Gを見据えた新規インターフェース標準と、光線路設備の充実と運用の効率化に関する議論が継続的に行われている 光ファイバ、光ケーブル、光部品の標準化活動ではIEC TC86と継続的に協調活動を実施し、特に空間分割多重技術の標準整備についてリエゾン等を通じ密に連携している IEC TC86ではマルチコア光ファイバコネクタ標準、SDM光増幅器の議論も進められている 		

光ファイバ伝送専門委員会の標準化領域 (ITU-T SG15 WP2)



ITU-T SG15 WP2の所掌課題	WG2000とSG15の関係
各課題のトピック	SWG2001 ⇔ 課題6
	SWG2002 ⇔ 課題5・7・8

<p>新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ G.Suppl.87(SDMファイバのロードマップと標準化項目)、L.10xシリーズ(各種光ファイバケーブル)、L.405(FTTx設備用コネクタ付き配線コンポーネント)、G.672(多方路再構成可能光挿入/分岐多重装置の特性)、G.698.2(単一チャネルインタフェースを有する光増幅DWDMアプリケーション)、G.681(分布型光ファイバセンシングのインターフェイス)の新規制改定、並びに関連寄書の投稿 ・ JT-G657(低曲げ損失シングルモードファイバケーブル)改訂、およびJT-G671(光部品とサブシステム)新規制定 ・ 物理層IF標準に関するセミナー開催
---------------------------------------	--

<p>関連する専門委員会または外部組織とその内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝送網電磁環境およびアクセス網委員会・物理層IFの連携 ・ IEC TC86国内委員・物理層標準の連携
------------------------------	--

主な活動項目	概況指標	2025年度目標(当初計画時)	2025年度実施状況	記事
<p>① アップストリーム 他団体との連携</p>	寄書数	-	16件	
	外部会合への参加・連携状況	-ITU-T SG15 WP2(2025年10月) -IEC TC86国内委員との連携	-ITU-T SG15 WP2(2025年10月) -ITU-IEC Joint Workshopで日本から2名講演を実施	
<p>② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート</p>	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
<p>③ ダウンストリーム</p>	数	JT制改訂:2件 ・JT-G657改訂(2025/3Q) ・JT-G671新規制定(2025/3Q)	TR改訂:1件 ・TR-GSup39改訂(2025/4Q)	・JT-G657については、元勧告ITU-T G.657が早期改訂見込みとなったため見送り、他の文書に着手
<p>④ プロモーション 普及推進</p>	セミナー	TTCセミナー ・物理層IF標準の動向と展望など(2025/3Q)	TTCセミナー ・分布型光ファイバセンシング標準化動向(2025/1Q) ・物理層IF標準の動向と展望(2026/1Q)	
	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告	TTCレポート活動報告	

重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ G.smmcf(G.652互換MCF)、G.csmcf(G.654互換MCF)、G.65xシリーズ(各種SMF)、L.341(電信柱および屋外架空設備の保守)、G.698.2(単一チャネルインタフェースを有する光増幅DWDMアプリケーション、並びに関連寄書の投稿 (SG15、2026年1Q) 			
新テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ JT-G650.2(シングルモードファイバケーブルの統計的、非線形パラメータの試験法)改訂、およびJT-G671(光部品とサブシステム)新規制定(2026/3Q予定) ・ 光線路標準に関するセミナー開催(2026/3Q) 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝送網電磁環境およびアクセス網委員会・物理層IFの連携 ・ IEC TC86国内委員・物理層標準の連携 			
主な活動項目	概況指標	2026年度目標(当初計画時)	2026年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	-	
	外部会合への参加・連携状況	- ITU-T SG15 WP2(2026年6~7月) - IEC TC86国内委員との連携		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	JT制改訂:2件 ・JT-G650.2改訂(2026/1Q) ・JT-G671新規制定(2026/3Q)	TS制定 TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	TTCセミナー ・光線路標準の動向と展望など(2026/3Q)		
	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告		